

## 第4回八幡市地域公共交通会議 書面開催

(令和3年2月5日付)

### ■意見書概要

\*意見書提出：13件（内、意見なし：3件）

委員名	意見内容
①野村 実 (大谷大学助教)	<p>議題3・当該地域でのワークショップなど意見交換の機会はあった方が良い。一方で「バスが必要かどうか」を論点に据えてしまうと、「使わないけどあった方が良い」というニーズが多く紛れ込んできてしまうのでは。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・乗り継ぎニーズがありバスが必要となっても、事業者によるサービス供給が困難なため、バス外の選択肢も視野に入れることが求められる。</li> </ul> <p>※参考資料あり：地交会議委員である学生による南北線バス乗降調査では、大芝・松花堂前での乗り継ぎはなかった。</p>
②金澤 重之 (京都運輸支局)	意見なし
③中坊 傳 (山城北土木事務所)	意見なし
④岡本 弥四郎 (NPO 道しるべ)	<p>議題3・南北バス路線については、約10年前と比較し年齢階層が変わってきてはいるが、採算性の合う利用者予測は期待しにくい。登録不要の地域活動を地域で推奨してはどうか。 ※参考資料あり</p> <p>その他・コストコの渋滞は早期に解消策を提示してほしい。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・橋本駅開発について、行政（八幡市・京都府）の主導権を発揮し、京阪不動産提示案の早期の実現をしてもらいたい。</li> </ul>
⑤道上 幸彦 (男山中学校区)	<p>議題3・近年、美濃山・欽明台地域は著しく発展し物流や医療機関、商業施設が充実している。同地域の生活エリアは「美濃山・欽明台・松井山手」に1本化している。南北バス路線については、樟葉駅ロータリーのバス乗り場を利用してスムーズな乗り換え移動が可能と考える。</p> <p>その他・八幡市を東西に走る道路が重要になってくる。</p>
⑥小林 恭一 (男山第二中学校区)	<p>議題3・本件の解決はバス会社だけで解決できるものではない。アクセスの悪い市役所の立地に問題がある。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・欽明台～市役所での直通便が必要なら市バスのような扱いとして補助金を出してはどうか。</li> <li>・行先を石清水八幡宮駅に限定せず、樟葉駅にすると利用者</li> </ul>

	<p>が増やせるのではないか。</p> <p>その他・八幡市立地適正化計画は、現状に基づき人口増を図るという観点からも策定の必要性が高い。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>市役所や石清水八幡宮駅を中心に考えるのではなく、市民が住みやすいまちづくりを行うべきであり、そのための道路や交通体系を考えることで人口増が可能になるのでは。</li> </ul>
<p>⑦梶原 寛之 (男山第3中学校区)</p>	<p>議題3・美濃山欽明台地域の住民が新規バス路線を望んでいるのは理解できるが、どこの地域でも「ないよりあった方がよい」という声が多い。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>NPO 道しるべによるデマンド運行をされる中でも、市役所への移動に関する意見が出ているが、市役所に行く回数が本当にそんなにあるのか、今以上の交通の充実が必要な人は実際それほど多くないと考える。</li> <li>地域が主体性を持ち、より良く住みやすい地域とはどのようなものか、バス路線がなければ、どのように困るのか、バス以外（費用対効果）に考えられないかを地域で考えることが必要。</li> </ul> <p>その他・橋本地域の交通空白について、坂が多くお困りとのことだが狩尾地区300世帯75歳以上が約100人いる中で、ほとんどが居住地の環境に適応して生活されており、買物に苦労している人は意外と少ないのではないか。</p>
<p>⑧下岸 由宜 (大谷大学)</p>	<p>議題3・バス路線の新設には共感できるが、バス会社の経営状態や運転手不足を踏まえるとすぐの新設は難しいと思う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>2020年9月、11月に松井山手駅ー市役所方面（大芝松花堂乗り継ぎ）で乗降調査したが、乗り継ぎした人はいなかった。直通バスを通して定期的に乗る人がいるのか疑問。</li> <li>署名活動以外にワークショップなどをして、地域の困りごとを把握することも必要では。</li> </ul>
<p>⑨神原 孝夫 (京阪バス)</p>	<p>議題3・当社バスの利用は新型コロナ感染拡大に伴うテレワーク浸透や出控え等に大きな減少が続いている。これを受け、需要に合わせた減便を伴うダイヤ改正を実施しており、路線の新設は非常に厳しい。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>2008年度に実施した南北線実証運行でも、目標利用数に達しなかったため、本格運行に至らなかった。</li> <li>今後、八幡市から運行経費等へ十分な支援があれば検討の余地はあるが、乗務員不足の状況も続くと考えられるため、要望への対応は難しいことをご理解願いたい。</li> </ul>

<p>⑩藤岡 丈二 (京阪バス労組)</p>	<p>議題3 意見なし</p> <p>その他・新型コロナウイルスの影響で路線バス、高速バス、定期観光バスの利用は大幅に減少しており、今後も以前の水準には戻らないと考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・路線バスでは、不採算路線、早朝深夜のダイヤ改正などを京阪バスの全営業所でやっており、厳しい経営状況をご理解願いたい。</li> <li>・しかし、地域の皆様の移動確保は大変重要であると考えている。今後ご意見を聞かせていただきたい。</li> </ul>
<p>⑪槻木 章 (京都京阪バス)</p>	<p>議題3・公共交通に対する要望は多くあるが、民間事業者は利益が見込めない路線の運行は引き受けられない。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・運行経費を市財政で賄えるかと言えば現状では厳しい。しかし、当該地域が既存のコミバス路線に含まれていない経過は説明すべき。</li> </ul>
<p>⑫上田 智之 京都府タクシー協会</p>	<p>議題3・2009年6月30日をもって八幡市内南北バス路線の試行運行でわかたように、沿線住民の期待は高いが実際の利用には繋がっていない。南北の移動手段としては十分な利用がないのだろう。</p> <p>その他・南北線を運行させるのなら、料金を高額設定しなければ運行できないだろう。運転士が不足している中で新しい路線の追加は難しいだろう。</p>
<p>⑬中下 泰宏 京田辺市計画交通課</p>	<p>意見なし</p>

\*その他の委員及びオブザーバーからの意見はありませんでした。